



いきいき

小富士っ子



R5学校便り No22

令和6.2.20

四国中央市立  
小富士小学校

## なんくるないさー



(私の母校：琉球大学)

暖かい日も増えてきて、少しずつ春を感じるようになってきました。プロ野球も2月23日からオープン戦が開幕するようキャンプも本格的になってきています。ところで、プロ野球のキャンプ地と言えば沖縄ですが、私鈴木は大学生の4年間、その沖縄に住んでいました。大学生活は本当に楽しくて、沖縄はとても良い所でした。美しい海に囲まれおり、丘の上から眺める海には心が癒されました。一年中暖かくて過ごしやすく、たまに「寒いな」と

感じる日はありましたが、暖房器具を使うことはまずありません。友人宅にこたつはありましたが、麻雀卓代わりでした。そんな私が大好きな沖縄には、難解な方言（おじーやおばーの話す言葉は、まったく分かりません）がいっぱいあります。有名な方言に「なんくるないさー」というのがあります。（最近「ちむどんどん」の方が有名かな）この「なんくるないさー」の前には言葉があって、本当は「まくとうーそーけー（誠のこと（正しいこと）をしていれば）、なんくるないさー（なんとなかなるさ）」なのだそうです。今は、少し楽観的過ぎないかを感じるような使われ方をしています。それでも、好きな言葉です。「なんくるないさー」には失敗を許す寛容さや、落ち込んでいる者を励ます力を感じます。「なんくるないさー」の精神も前向きで良いと思います。私も「なんくるないさー」精神を持ちたいと思います。



(沖縄の美しい海)

もう一つ、沖縄には「うちなータイム（沖縄時間）」というのがあり、飲み会など遊びの約束時間がいい加減なのです。大らかでのんびりとした風土のせい、とにかく時間にルーズで守りません。最初はそれがとても嫌でした。19時集合で待ち合わせしても、時間を間違ったのかと思うくらいに誰も来ません。「19時集合だよ。なぜ、守らないのか。」と聞くと、変な言い訳みたいに「ちゃんと19時には家を出た。」と答えます。沖縄では、集合時間は集まる時間ではなくて、それぞれが家を出る時間なのです。確かめようはありませんが、約束の時間に家を出たと言えば、時間は守ったことになります。集合場所の近くにいる人から集まり、場所取りが必要ならば、一番近くに住む人がその役目を引き受けます。これが、私が住んでいた当時の沖縄の常識です。よくよく考えてみると、「なるほど」と思うところがあります。自分が考える常識なら集合時間から逆算して出発時間を割り出し、その時間からもう何分か早めに家を出ます。結果、早く着き過ぎて無駄な時間を過ごすこととなります。しかし、沖縄では道中に掛かる時間以外の余計な時間を使うことはありません。たとえ道中に何かあって予定以上に時間が掛かりそうになっても焦る必要もありません。先に着いた人も、自分が先に着くことやその内みんな来ることは分かっているので、いらいらも心配もせず待ちます。うちなータイムは、なかなか理にかなったシステムです。（もちろん沖縄にもどんな場面でも時間をきちんと守る人はいますし、ビジネスや学校での時間は、みんなちゃんと守ります。）

そこにある文化や常識が自分のそれと違っていても、**それぞれの違いを認め、大切にしたい**と思います。そして、**自分の常識を人に押し付けない**よう、**自分や他人の常識の正否を確かめたり、必要であれば相手の常識に合わせたりできるようにしたい**と思います。これからももっともっと異文化や様々な常識に触れる機会を持ち、自分の幅を広げたいです。皆さんは、いかがですか。ところで、私はどんな場面でも時間はきちんと守りたい派です